

## 日本あちこち河川遊行記(第238回)

京都 1-2-2.鴨川(その1)平成30年4月7日(土)曇り

2週間続いたぼかぼか陽気と晴天が終わり雨のあとは冬に逆戻り、朝早く電車に乗ると強風のため瀬戸大橋線は運休中との車内放送が流れる。橋完成30年記念の与島での行事も昨夕に開催中止を告げていた。完成して30年、昭和45年に児島調査事務所での調査、実験、検討から48年も経ってしまった。開通した初日は早島ICの管制室で橋とICの通行状況の監視と渋滞対応、国県の道路情報板への状況掲示依頼など夜遅くまで立っていたのを思い起こす。開通1年目は北海道と沖縄以外の全国の観光バスがICの料金所を通過していった。

今日は18切符利用可能な最後の土曜日で電車が満員になるので本線経由姫路行きには乗らず、播州赤穂行きに乗り赤穂で始発の新快速に乗ることにして5時39分に庭瀬駅から出発した。それでも18組が多く乗っている。何度も利用しているノンプロ達だな。JR西の岡山支社管内の鉄路は線区毎にラインカラーが決められており、赤穂線は赤色だ。西大寺駅の駅名板も赤色だが支柱等がピンクに塗られており品位に欠けている。



01. 赤穂線のラインカラーは赤色だ

が・・・

赤穂駅で4両の電車から8両編成の新快速(姫路までは普通)に乗り換えるとはほぼ座席が埋まり発車。相生で本線からの電車を待つと満員状態でやって来た。やっぱりナー。姫路以東に向かう客が乗りこんで来て発車。途中の網干で前に4両増結して12両のフル編成で東に向かう。

高槻で満員の新快速から空いた各停に乗り換えると大きな荷物を引き連れたユー達がのんびりと座っている。ぎゅうぎゅうの新快速よりもこちらがご正解である。桂川遊行時に降りた「長岡京」駅で下車し、今度も前回と同じ京都市営の「竹田」行きバスに乗る。桂川と鴨川の橋が続く府道の真ん中の「上鳥羽塔ノ森」バス停で下車。鴨川に架かる「京川橋」は前回調べて有るのでパスし

て鴨川右岸のミニ公園風の土手路を北に向かう。道沿いには数多の種類が有る桜の一部が植えられ、解説板が架かっている。多くの桜はすでに散っているがボタン桜系統が私達の出番と大きな花を見せつけてくれる。「楊貴妃」と「松月」なる大輪の八重桜がその姿を競っている。良く似た花なのに名前の付け方が全く異なる。



02.各種桜が川沿いに並ぶ、これは楊貴妃  
だって

03.こちらは「松月」だが桜に松  
とは？

市道の「小枝橋」を対岸に渡り河川敷に降りて遊歩道を歩く。直ぐの名神高速道の桂川橋は遮音壁で完全に覆われている。名神を走ると鴨川は見れまへんで！



04.名神高速は遮音壁で覆われている

川は右に曲がり北東からの流れになる。京都市内を南北に一直線に延びる国道1号線が川を越えている。地形図で見ると見事に南北に方向が合致した線が九条から久御山まで続いている。土手下から上に上がると名神に上り線からの

オフランプと料金所が出来ている。かつてこの京都南インターの国道1号線との合流部の渋滞が本線まで及んでいたのがその解決策としてのオフランプ増設である。その1号線への合流部に合流車線が無いのでこちらも渋滞したようで、その解決策として橋の両側の歩道を撤去し北行き合流車線を増設した。その代替として上流側に新歩道橋が出来ている。オフランプだけ作っても合流する国道側の改良をしないでは対策にはならないじゃないか。

古いコンクリートアーチ橋のアーチ底には鉄板の補強、防護がされている。この橋は武庫川に架かる国道2号線の橋と兄弟にあたる橋で良く似た姿をしている。



05. 国道1号の橋名は鳥羽大橋



06. コンクリートアーチの底には防護鉄板が

肌寒い空気の中、遊歩道と土手の上を何度も上下と行きつ戻りつつを繰り返しながら上流に向かう。

「大宮大橋」を越え進むと市道の京都南大橋の上に阪神高速京都線（8号線）が二階建て構造で川を越えている。会社の名前を変えなくっちゃー。第二京阪道路の巨椋池ICから連なり洛南を北上し十条で東山をトンネルで潜り山科に到る都市内高速道である。高架橋は全てあの無塗装橋で、かつての京都タワーで起こった景観論争は起こらなかったのだろうか？地形図には載っていないので道路地図で見ると、一直線に延びて来た道路の橋の先が極端に線形が悪く急曲線が連続している。交通量が増えると事故が多発するおそれがある。





08.京都に阪神高速が進入

自歩道橋を越えると近鉄京都線の鉄橋が横断している。京都はかつては京阪が幅を利かせ、阪急京都線は新京阪電車として、近鉄京都線は京阪系列の奈良電鉄が運行していた。今は阪急は四条通りを地下線で、近鉄の竹田駅からは市営地下鉄が北に延び、近鉄も相互乗り入れをしている。京阪も負けじと八条辺りから地下化し三条を越えて鴨東線を出町柳まで完成させた。叡電も嵐電も京阪のグループ会社である。京阪は道路を走る電車がお好きだなー。新幹線京都駅の下からは近鉄特急が伊勢志摩、奈良に頻繁に走っている。



09.近鉄奈良線電車が橋を通過



10.塗装デザインを変えた特急も通過

11時45分、十条通りの「陶化橋」までやって来て予定していた四条通りまでは未だ1時間以上かかりそうなのでキリの良いここで本日の遡行は終わりとす。土手の上下と右往左往で時間を取られた。

今日は母校の同窓会館での定例トークショーに同組だったF君（博士）の講演が有るので急遽出かけることにした。自分も数年前に瀬戸大橋の話をした会である。橋際に丁度タクシーが来たのではりこんで阪急河原町駅に向かう。狭かった河原町通り（国道24号）が広がりスムーズに走って行く。高島屋のトイレを借用し、特急で十三に向かう。かつては停車駅が少なく早く感じていた

特急だが新快速の130km走行に慣れていると「遅いやんか！」。

本日の歩行距離：5.8km。調査した橋の数：14。

総歩行距離：9,889.9km。総調査橋数：11,959。

使用した1/25,000地形図：「京都西南部」（京都及大阪7号-1）、「京都東南部」（京都及大阪3号-3）